

視察研修 特色



大崎町は、市町村合併をせず、単独の道を選んだ。ごみの焼却施設は以前からなく、すべて埋め立ての処理を行ってきた。徹底した分別収集は「衛生自治会組織」の地道な活動が重要な役割を果たしている。

また、特筆すべきは、当初役場職員が町内152カ

所の収集場に配置されたこと。朝から立ち会ってごみの分別の指導をし、町民との信頼関係を築いてきた。現在でも、集落担当職員制度が設けられており、年1回は必ず自治会に顔を出し、年間の行政報告もしている。

そして、収集された粗大ごみは、再利用できる家具

などを、一律10000円で販売している。このきめ細かい仕組みが町民の信頼とやる気を引き出し、理解と協力を得ることにつながっている。本町の意味での住民と行政の協働活動の結果として、リサイクル率全国1位の偉業が達成された。

		ごみ			
		みり			
		サイ			
		クル			
		率	日本		
		鹿	島		
		児	県		
		島			
		県			
			大		
			崎		
			町		

		や			
		ね			
		だ			
		ん			
		鹿			
		児			
		島			
		県			
			か		
			の		
			や		
			鹿		
			屋		
			市		

柳谷集落（通称やねだん）には、有線放送設備があり、父の日、母の日、敬老の日には異郷にいる出身者からの心のこもったメッセージが放送され、村人の心をつなぐ役割を担っている。また、畜産農業の悪臭改善策として、土着菌を製造

販売し、畜舎に敷くことで臭いがほとんどしなくなる等、衛生面の向上に役立っている。以上のような活動の結果、Uターン現象や「迎賓館」事業の効果により、2007年以降集落の人口は増加に転じている。

← 迎賓館（げいひんかん）

迎賓館は、集落内の空き家を修復した施設。日本各地から移住した芸術家が活動している。



強力なリーダー、豊重哲郎自治公民館長のもと、その熱意とアイデアに負うところが多いが、その当時、高齢化と空き家が目立つ中、集落存亡の危機感をバネに住民総出で協力し合い地域再生を果たしている。